

各委員会審査報告

建設環境常任委員会報告

目指せ、豊かで安心安全の町づくり！



委員長

中本博明

議案の所管事項全般に渡り、執行部から説明を求め、質疑を行い、十分な審査の結果全員賛成で、認定すべきものと決定した。主な質疑、応答は以下のとおりである。

上下水道課関係

一般会計について柳井広域水道の償還金の期限と、未収金の額はいくらかとの問いに、平成42年までで、平成18年度は約989万円との事。

公共下水道事業特別会計については、使用料未収金の対応はどのようにするのかとの問いに、未収金解消に努めているとの事。

生活衛生課関係

住宅家賃、公益費含め、収入未済額が800万円以上になっていて、2年前にプロジェクトを作って回収をかけるという事であったが、一向に成果が上がらない。もっと強く努力するよう指摘があった。

又、法的手段はいつとるのかとの問いに、最終的には明け渡し請求の法的手段までのステップを踏んでいるという段階であるとの事。

町内の斎場及び火葬場の統合は考えているのかとの問いに、全体的な中で利用状況を見ながら検討するとの事。

水産課関係

種苗放流育成事業の現況はどうなっているのかとの問いに、アワビは漁協が日見で中間育成をして放流しており、マダイ、カサゴも放流している。又ヒラメについては県事業で放流しているとの事。

商工観光課関係

町内での各種イベントに対する補助金及び実績はとの問いに、お大師堂めぐり歩け歩け大会、久賀ふるさと夏まつり大会、橘花火大会にそれぞれ80万円の助成を行っており、久賀夏まつりに3千人、花火大会は1万5千人の参加者でにぎわったとの事。



▲にぎわうお大師堂巡り

建設課関係

建設課関係では、久賀宗光の浸食防止県事業に関する事。及、国道437号線の逗子～小伊保田間の改良工事の進捗状況についての問いなどが委員からありました。